

ピースクラブ通信

No. 44

猿橋信

役者「かんたろう」逝く

今年の夏は暑すぎていろんな所で訃報をきいた。無断欠勤も珍しくなかつたかんちゃんが出来なかつた三日め、気になつて見に行つてもらつたがすでに遅かつた。現場

はもう救急隊員やら警察やらの手に渡つていて、その後結局顔を見ることもできなかつたのだ。玄関は全然手をつけてない新聞の山だつた。

彼と初めて話したのはたぶん十年前の今頃、ピースクラブ竣工式の前日だつた。

当時ぼくは失業して

いて、以前鶴見橋にあつた「きじむなめ」が移転するとか、建物はもうできあがつてるとか、噂はきいていて、様子をみにきたのだつた。

かんちゃんは、パソコンでデザインしたり印刷の仕事をしたと言つてい

たと思う。そして、彼がかつて一緒に旅回りしてテント公演をしていた劇団「未知座」のこと。共通の友人がいたりしたのだつた。その夜の酒の席でぼくはなんとなくという

発行 社会福祉法人 ピースクラブ
所在地 〒556-0014 大阪市浪速区大國1-11-1
連絡先 TEL 06-66647-120077
FAX 06-66647-20087
Eメール peaceclub@s2.dion.ne.jp
H・P http://www.ab.auone-net.jp/~peace_c/

感じて働くことになり、一方彼はピース二階の一角で「かんたろうデザイン事務所」をかまえる。

名刺やチラシ、ジジムのメニュー、ピースのパンフレット…でも、彼の仕事っぷりはなかなか評価されず、だんだんピースの中で居場所を失つていく。

居心地の良い別の場所をみつけたこともあり、彼の気持ちは離れていったように思う。

今日は来てるのかどうか誰も知らない。

見かけるのはジムナリーの裏口か、向かいのフェンスにもたれて膝を抱えてタバコを吸ってる

姿だけ、というような。そんなかんちゃんが再びみんなの注目をあびた。

かっこいいバギーみたいなバイクに乗って現れたこと。

ヘルメットのかわりにトリードマークのクマのかぶりもの。

これはもつと以前からだけど。

北海道にツーリングにでかけた時、いろいろ武勇伝を聞かせてくれた。

でも意識をなくすような事故も何度もあつた。

そんなかんちゃんだったが、だんだん腕が上がらなくなり、バイクにも乗れなくなつた。

昔は手話通訳もやつたというのだけど。

足腰も弱り、酔つ払つては転んで怪我ばかりするようになっていた。

自宅もあれ放題だつたようで、ろくに着替えもしていない。

「くさいぞ、かんちゃん」とピースの風呂に一緒に入るようになったのは今年になつてからのことだつた。

おかげで三階で過ごすことも多くなり、ピースのみんなの目に触れるようになつた。





ピースのヨサツ

道本ハル子

寝てばかりだったけど。そして結局かんちやんが情熱を傾けたのは数年前から始めた一人芝居だったと思う。
ガンコでヘンクツでプライドの高かった彼が、自分のいちばん恥ずかしいところをさらけ出すんや、と言っていたという。
長年連れ添ったネコのくうちやんの死を乗り越

えて、今年は二ヶ所で公演。
さらに障害者の劇団「態変」に主役級で客演したのが7月20、21日。
最後の舞台となった。
ピースのみんなはほとんど見てないけど、かんたろうの芝居はおかしくて、せつなくて、かつよかったよ。
最新はあまりにもあつけなかったな。

難波養護学校を卒業して、市立の作業所を2ヶ所通い、その後の早川ジョブトレに通っていた時に「きじむなあ」を紹介していただきました。
早いものでもう20年以上にもなります。
いろんな事を教えても

らったり、いろんな所へ連れて行ってもらいました。
家にいたら、こんなにいろんな所へ行ったり、多くの友達との出会いはなかったことと思えます。
毎日元気で頑張っている正行を見ていると、「きじむなあ」に出会えて本当に良かったと思えます。

毎日イキイキした気持ちでパン売りを頑張る、暑い日も寒い日も雨の日でも、よく頑張っている姿をうれしく思います。
ピースのグループホームでお世話になって10年以上経ちました。
私の入院生活が長くなつた事が、ピースに預けるきっかけになりました。

僕のパン売り

佐伯利也

自立とはいかないまでも、どうにか少しずつですが、前に進んでいると思えます。
スタッフの皆様方の応援をいただき、ますます大きくなってゆく姿を見て、いろんな方との出会いに感謝

しています。
これから私達も年を重ね、本人も大変でしょうが、ピースの皆さんに支えられながら、少しずつ前に進んで頑張ってくれたらと思っています。

今から25年前のこと

でした。

職安でこさりの求人を見つけてこさりに見習いに行き、そこで当時のこさりのメンバーの谷さんや中西さんと一緒に生野区役所で売ったのが僕のパン売りのスタートでした。
本日は当時、こさりに就職をしたかったので、21才の僕を見て



「佐伯君はまだこれからの人だから、ここで今すぐ一緒に働くのはもつたないよ」という理由で、こさりのスタッフに断られました。

この時、僕のパン売りは終わったと思ってました。

しかし、28才の時に朝子さんの紹介でピースクラブで働くようになります、本格的にパン売りが僕の仕事となりました。

当時の販売場所は、鶴見橋商店街が週2回とひかり学園と旧愛染橋病院の職員休憩室でした。

当時は今のようにピースクラブでパンの製造はしてなかったの、ポッポパンを仕入れて販売して

いました。

当時の鶴見橋商店街の販売は、一日平均3千円のパンがなかなか売れずよく岸本さんに手伝ってもらったことを覚えています。

それにお年寄りのお客さんには、「兄ちゃん頑張ってるから買ってあげようと思ったけど、兄ちゃんはこのパン高いわ」と言われて逃げられたこともよくあり、パンのおしさを伝えられず残念に思ったこともありました。

その後森本さんから区役所の販売を受け継ぎ、大正と浪速の販売を始めました。

大正区役所の販売では、組合の職員さん達がよく買ってくれたので、

15年ぐらい前でも平均1万2千円はあり楽しくパン売りをしてました。

現在は、昔から続いている愛染橋病院と浪速区役所を中心として、「仁菜」の喫茶店前と月一回の栗本鐵工所の北加賀屋工場に販売に行ってます。

その中で一番楽しいのは7月から始まった栗本鐵工所の販売です。

その理由は簡単!! 他のとこにないぐらいの早さでパン、クッキー、ラスクが気持ちよく売れていくところですよ。

これからの希望は、栗本鐵工所のように楽しく売れる販売先を見つけ、みんなより楽しくパン売りをする事です。

与太郎の与太話2

聡先輩はなぜか歯医者者が大好きだ。

「与太さん今日歯医者さ。与太さん歯医者連れて行ったらあー聡先輩の興奮はマックスに近い。

連れて行ってくれるんですか、ありがとうございませう。

そして私は、イタ〜い手パッチンの餌食になるのだ。

誰かがいたずらっぽく言う。

与太さんは逃げるからサトちゃんがよく見張らなあかんで。

聡先輩なぜか無言。元養護施設、脱走常習犯の問題児だった私を、聡先輩のお出かけ阻止役にするとは…さすがピースクラブ。

今日も聡先輩に歯医者に連れて行ってもらおうと与太郎なのだ。



● 編集部より ●

◇ピース通信、先月出

す予定が遅れてしまいました。すみません。

記事を書いて戴く方を探すのに一苦労してま

す。お声をおかけしましたら、御協力のほどよろしくお願ひします。

また、自ら協力した

いとお申し出いだくことも歓迎しております。

◇先月号より、ピース通信編集総仕上げを鍛治秀昭さんにお願ひしております。

ようになりました。

◇数週間前に春さん、

大西かじさんの居る宮古島へ行ってきました。

ちょうど台風の直撃に会いました。

風速40メートル、家の前

にある頑丈なサトウキビ達が倒れるぐらいの暴風雨でした。

自然の脅威を改めて

思い知らされました。◇ピースに帰ってきてても、いろんな脅威にさらされています。

突然、物が飛んできた

り。連鎖反応で、あちこちで衝突が起こったり。

わがままに振り回された

り。

自然の脅威と人間の脅

威、どちらも比べようのないぐらいの脅威で飛ばされ

そうだ。



宮古島サトウキビ畑の様子

これからのスケジュール

● 11月 2日(土)、3日(日)

ピープルファースト大会 クレオ大阪中央

● 11月17日(日) 13時

矢島さっちゃん追悼会 三角公園

● 11月24日(日) 13時半 ピースクラブ4階ホール

スケッチ・オブ・マーク上映会
(宮古島のドキュメンタリー映画)

入場料 1,500円